

令和7年度 学校評価報告書

学校番号(中26)

長崎市立滑石中学校

1 教育目標

「自ら進んで学び、社会性と高い志をもった生徒の育成」

2 学校経営方針

《目指す学校像》
・元気で温かみのある学校 ・学力の向上をめざす学校 ・秩序があり安全で美しい学校
《目指す職員像》
・生徒への愛情溢れる職員 ・自らを高める職員 ・心身共に健康で人間性豊かな職員
《目指す生徒像》
・夢に向かって学び合い高め合う生徒 ・感謝の気持ちを素直に表し支え合い認め合う生徒 ・地域や社会に貢献し奉仕する心を持つ生徒

3 重点目標

○チーム担任制：①リーダーを育成すると共に、生徒の主体性を高める。
②きめ細やかな面談・相談を実施することで、生徒の個に応じた支援を確実に行う。
○教育相談充実：時間を十分確保する。(7月下旬・11月上旬・個に応じた面談)
相談(面談)形式に工夫し、生徒自身の実態を理解し、適切に支援する。
事例検証を通じて、指導(支援)技術を向上させる。
○評価充実：生徒のやる気を喚起する評価となるように工夫する。(教科・教科外・日常生活等)
評価材料を計画的に集め、生徒の実態を正確に表した評価を行う。
生徒一人ひとりに正確に評価し、生徒が主体的に学習改善につなげる。
○部活動地域移行：①生徒の主体的な活動を促進し、心身ともに健全な生徒を育てる。
②継続可能な組織づくりに努める。
中学校部活動：保護者・地域と連携し、現在の活動の適正化を図る。
地域移行：部活動振興会とともに、継続可能な組織づくりに検討する。

4 自己評価			8月			12月			※塗りつぶしは、向上したところ。	
領域	項 目	質 問 内 容	アンケート集計			アンケート集計				分析及び改善策
			肯定的割合(%)			肯定的割合(%)				
			生徒	保護者	教職員	生徒	保護者	教職員		
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	92.6	85.1	100.0	90.8	87.0	100.0	○全体的に高い評価である。 ○保護者は、学校の雰囲気の向上を感じている。	
	学校の雰囲気	学校は 明るく楽しい雰囲気である	97.3	92.1	100.0	95.2	96.3	95.8		
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			96.4			95.8		
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			88.9			87.5		
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	92.3	85.4	96.4	94.2	90.8	83.3	○全体的に高い評価である。 ○挨拶についての保護者の評価が向上している。地域や校内での挨拶が向上したのではないだろうか。一方、生徒及び教職員の肯定的な評価は伸びていない。指導の継続が必要である。 ○いじめの早期発見や迅速な対応を意識して生徒指導を行っているが、それが保護者へも伝わっていると思われる。 ○今年度は、長崎市の平和関連の行事への生徒の参加機会が多かったため、指導の機会も増えた。	
		挨拶をよくしている	91.7	71.3	89.3	86.6	82.4	87.5		
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	88.4	90.2	85.2	94.5	87.1	95.8		
		生徒は、自立した行動(自ら気づき、判断し、行動すること)をしている	86.4	77.6	74.1	84.9	85.7	87.5		
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	89.0	78.1	100.0	88.7	85.5	100.0		
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	93.3	82.8	100.0	91.8	83.0	96.0		
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	94.0	85.0	89.0	86.0	86.0	95.8		
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	97.0	87.0	96.2	96.0	84.8	95.8		
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風の実態に即した教育を行っている	94.0	84.0	96.2	93.5	84.4	91.7	○家庭学習は、生徒、保護者の意識が向上しているが、相対的な評価は低い。今後も手立てを考えていく。 ○キュビナの強調月間の取組では、学校の目標を達成することができるなど、生徒や職員の意識の向上が認められる。 ○キャリア教育の意識の向上は、これまでの地域の盛り上がりが反映されていると思われる。	
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	92.0	82.5	96.2	93.6	86.1	100.0		
		家庭学習の習慣が身に付いている	61.0	61.0	84.6	67.3	67.6	81.0		
		学校は、タブレットなどを使った学習を推進している。	63.0	67.7	76.0	66.3	76.6	61.9		
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	80.0	74.1	100.0	86.4	76.4	95.5		
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	90.0			91.2				
健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	96.0	90.6	92.6	94.2	89.7	95.8	○生徒、保護者、職員三者の評価がいずれも高いことが特徴である。 ○生徒の早寝・早起き・朝ごはんの習慣については、今後も啓発が必要である。	
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	89.0	87.7	100.0	87.8	92.6	100.0		
		体力向上に努めている	91.0	90.8	100.0	92.5	92.4	100.0		
	食 育	食に関する教育活動を行っている	96.0	90.1	96.4	95.9	93.5	100.0		
信頼される学校	安全管理	生徒の安全に気を配っている	98.0	92.2	100.0	95.6	89.1	100.0	○安全管理は環境整備と関連があると思われる。整備不足を今後も補っていきたい。 ○職員研修に関する職員の意識が高いところは、今後も継続していききたい。校内研究の実質的な向上、特に学力向上策に力を入れていくこととする。	
	情報提供	学校の状況は通信や安心メール、ホームページ等で知ることができる	93.6	90.2	100.0	90.8	86.1	100.0		
	PTA・地区との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	96.0	91.5	85.7	93.5	91.8	79.2		
	職員の資質向上	研修が充実し、資質が向上している			92.6			91.7		
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	74.4	82.0	75.0	78.6	90.8	79.2	○古い校舎ではあるが、外壁の大規模改修(塗装)や床の修繕、草木の手入れなど、今年度も整備を充実させた。清掃活動や安全点検の充実、校舎の営繕、維持管理などを今後も推進していきたい。	
		学校は、清掃が行き届いている	93.6	75.9	60.7	89.0	81.0	58.0		
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			89.3			88.0		

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

【成果】

①唯一、家庭学習に関する肯定的評価が相対的に見て唯一低いままであるが、他の項目はおおよそ高い肯定的評価になっている。
②家庭学習における肯定的評価は、8月から10月にかけて少しだが向上した。これは、校内研究の重点の1つとなっており、各教科等で啓発を粘り強く行っている成果である。
③全体的に見て、8月より12月の評価が上昇した。これは、生徒、保護者、職員の意識の向上が見られたことや、教育実践の効果を肯定的に感じている生徒、保護者、職員の割合が高くなったことを示す結果であり、今後の継続や向上が期待できる。
④環境整備については、今年度の外壁の大規模改修工事や校内外の環境整備などにより、まだまだ課題が多い中ではあるが、頑張りが見立った項目である。今後も、安全で快適な環境整備に努めたい。

【対策】

①心の安全・安心を目指して、いじめの防止や早期発見、授業改善や家庭学習の充実、家庭でのクロムブックの活用、学習環境の整備などを重点的に進めていきたい。チーム担任制の長所を生かし、生徒との日常の関わりや保護者等との連携を更に深めながら、課題に向き合って改善していきたい。
②教育環境の整備は、今後も継続して、優先順位の高いものから予算を申請し、可能な限り整備を進めていきたい。

6 学校関係者評価

- ・教員の評価に100%が多い。職場の良い雰囲気が伝わってくる。
- ・タブレットの利用の状況はどうか。→昨年度は利用することに焦点を当てた。今年は効果的な使用に焦点を当てている。
- ・教員は忙しそうであり、ゆとりがあるかどうか心配である。コロナ期の名残(給食時の座席の配列等)も再検討すべきでは。
- ・PTAの清掃活動に今年は部活動の生徒がたくさん参加してくれて、大変感謝している。
- ・生徒が地域の行事に参加することで、互いの理解が深まり、地域からの苦情を減らすことにつながる。
- ・SNSの問題があるかどうか知りたい。→実態はある。被害が広がらないように気掛け、支援・指導している。
- ・テレビドラマなどにも、社会問題を解くヒントがあるものがある。紹介するの手では。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

- ・地域やPTA行事への中学生の参加は、部活動との兼ね合いなどの障壁もあるが、今後も、学校ができることを模索していきたい。
- ・SNSの安全な利用について、今後も、生徒や保護者の啓発に努める。
- ・チーム担任制、評価の2期制、部活動の地域展開について、関係者に理解を求める活動をしながら推進していく。